

# 大豆栽培におけるレーキ式除草機を用いた帰化アサガオ類の除草技術

山形県農業総合研究センター土地利用型作物部

## 研究のねらい

大豆栽培において雑草対策は重要な課題である。近年は除草剤の効きにくい「帰化アサガオ類」が増加しており、大豆生育初期に使用可能なレーキ式除草機を用いた効果的な除草技術を開発した。

## 研究の成果

- ① レーキ式除草機（図1）は、大豆生育初期に使用することで、帰化アサガオ類の除草に効果がある。また培土板（図1左上）を取り付け、レーキによる引抜きに加えて5 cm 程度の培土を行うことで、帰化アサガオ類に対する除草効果がより高くなる（図2）。
- ② 大豆2葉以降では効果が劣る場合があるので、帰化アサガオ類に対する除草効果が高い処理時期は1～2葉期である（図3）。
- ③ 培土板を取り付けたレーキ式除草機を用いた帰化アサガオ類の除草体系

土壌処理除草剤  
(播種時)



レーキ式除草機  
(大豆1～2葉期)



ディスク式中耕培土  
(大豆3葉期・6～7葉期)

各条間に  
培土板を  
装着



図1 レーキ式除草機（培土板あり）

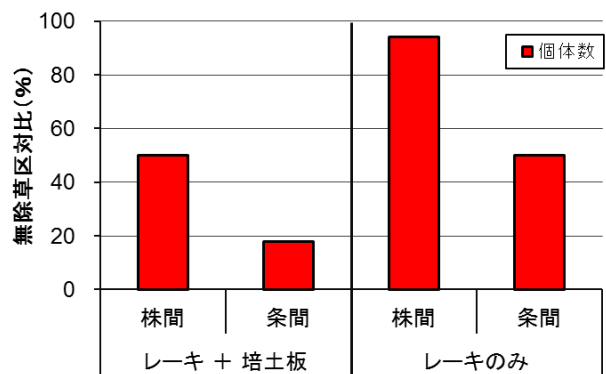


図2 帰化アサガオ類に対する培土板の除草効果（大豆2.0葉、アサガオ5葉時処理、調査：レーキ処理10日後）

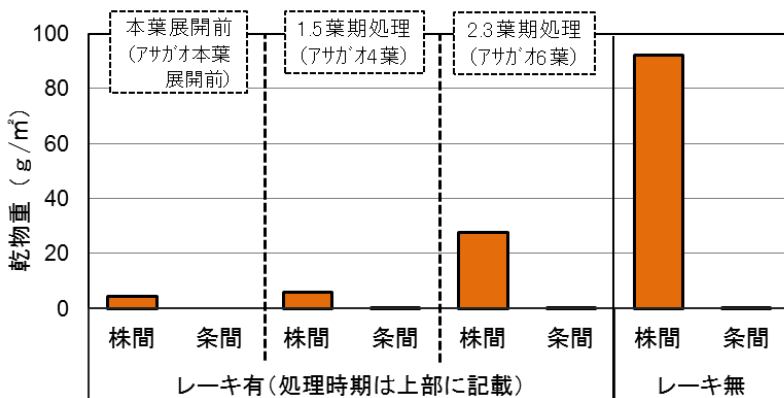


図3 レーキ式除草の処理時期と帰化アサガオ類の除草効果

注) 研究の成果③の除草体系で実施  
土壌処理除草剤：  
アラクロール・リニュロン乳剤  
残草調査：レーキ処理32日後  
※「レーキ無」区はレーキ式除草機のみ無処理